令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名	子育て支援課	事業No.	115
会計	一般会計		
事業区分	政策	実施区分	継続
開始	H27	終了	

事務事業名	子ども子育て支援事業

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	6	結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	分野別計画		子育て応援プラン	
			男女共同参画計画	
	法令・例規等		児童福祉法、子ども・子育て支援法、児童の虐待防止等に関する法律	
			男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法	

事業目的		
	対象	子育て中の家族
	意図	閉じこもりがちな子育て家庭を地域による子育てに転換することで孤立化が防止される。家庭育児に関する相談や援助を実施する環境を整えることで、子育てが安定し家庭での養育力が向上する。

2 事業内容

3年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・第２期飯田市子ども子育て応援プランを推進しました。 ・こども家庭応援センターが中核となり、支援を必要とする家庭に対して養育支援訪問やショートステイ・トワイライトステイ事業を活用して、児童虐待の予防に取り組みました。 ・４カ月児訪問により、地域での見守り体制の充実及び子育て応援ハンドブックをリニューアルし、内容を変更して子育て情報の充実を図りました。 ・ながの子育て家庭優待パスポートの県の新規協賛店舗の拡大に協力しました。 ・子どもの成長を家族みんなで楽しめる子育て情報スマホアプリを試行導入しました。	ファミリー・サポート・センター運営事業	7,144
	養育支援事業	447
	おめでとう赤ちゃん事業	651
	次世代育成支援行動計画推進事業	1,543
	子育て家庭優待パスポート事業	358
	会計年度任用職員（家庭相談、育児支援等）	5,448
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	令和3年度 計画	令和3年度 実績	令和4年度 計画	令和4年度 実績	令和5年度 計画	令和5年度 実績	令和6年度 計画	令和6年度 実績
ファミリーサポート活動実施件数	件	1,349	913						
家庭訪問数（０歳児数）	数	697	681						
養育支援家庭訪問数	件	223	70						
児童ショートステイ件数	件	168	59						
児童トワイライトステイ件数	件	1	5						
優待パスポート協賛店数	店舗	230	238						

3年度決算(千円)

			特定財源内訳及び補足事項
予算額		18,579	
決算額		15,591	（国）子ども・子育て支援交付金（１／３）
財源の状況	国庫支出金	8,310	（県）子ども・子育て支援交付金（１／３）
	県支出金	7,061	（そ）子育て短期支援事業保護者負担金
	地方債	0	
	その他	101	
	一般財源	119	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	8	1	3	6,772	5,448	会計年度任用職員人件費
2	1	3	2	8	11	1	7,145	7,144	ファミリーサポートセンター運営費
3	1	3	2	8	11	2	1,784	447	養育支援事業費
4	1	3	2	8	11	7	656	651	おめでとう赤ちゃん事業費
5	1	3	2	8	11	8	1,827	1,543	次世代育成支援行動計画推進事業費
6	1	3	2	8	11	10	395	358	子育て家庭優待パスポート事業費
7									

振返り課題認識	・児童虐待予防や発達支援について、それぞれの家庭の支援ニーズにあった社会資源を活用できるように、関係機関の連携強化が引き続き必要です。 ・子育て応援アプリの本格導入にあたり、孤立の解消を図るため、コンテンツの充実とオンライン相談の環境を整備が必要です。
上記の課題解決のための有効策	・引き続き、関係機関携との連携強化のための研究を進め、他機関の取組の相互理解を深めることが大切です。 ・７月より試行導入したいいだ子育て応援アプリの本格運用をし、アンケート調査に基づきコンテンツを充実します。
次年度に向けての取り組み	・引き続き、関係機関間連携の強化のための研究を進め、他機関の取組の相互理解を深めます。 ・本格運用にあたり、子育て応援アプリに独自の動画コンテンツを増やし、オンライン相談（予約制）をできる環境を整えます。